



弱り、疲れ果てた勇者は、やっとの思いで〈歌う樹〉にたどり着いた。すると、にわかには雲が晴れ、空は再び青を取り戻した。樹の住人たちは、焼きたての白いパンと、馥郁たる赤ワインを振る舞ってくれた。さらに勇者とその仲間たちのために、4つの贈り物を用意してくれた：

勇者たちは次の物品を獲得します：

- ・ワイン袋1個
- ・ゲームボードからルーン石1個（相談して選んでかまいませんが、獲得する前に、裏になった石の色を確認してはいけません）
- ・2ゴールド
- ・望遠鏡1個もしくは鷹1羽

勇者たちは話し合っ、誰がどの物品を獲得するか決めてください。1人の勇者が複数の物品を獲得してもかまいません。

このミニ拡張はIELLO社のために特別に書き下ろされたもので、カンヌ国際ゲーム祭2013の期間中、作者ミヒャエル・メンツェルのサイン会のためのキャンペーン品として配布されました。

このカードの使用方法：

このカードをゲームボード付近に置き、星マーカー1個を〈歌う樹〉のマス（地上なら57番、地下なら45番）に配置します。いずれかの勇者がそのマスに到達し、そこで移動を終了したとき、即座にこのカードを公開し、大きな声で読み上げます。物品をどのように獲得するかを決めたら、この物語カードと〈歌う樹〉に配置していた星マーカーをゲームから取り除きます。



竜の歌

〈歌う樹〉（57番のマス）に到達した勇者の意志力が、文書トークンに示された数以上だったら、物語トラック上の語り手コマを1マス後退させることができます。そうするなら、その文書トークンをゲームから取り除きます。

そうしなかった（もしくは意志力が足りずにできなかった）のなら、その文書トークンはそのマスに残り続け、その後いずれかの勇者が、再び実行を試みるすることができます。

重要：語り手コマの後退の際、後退先のマスに対応する物語カードやタイルが、再び解決されることはありません。

より伝説の難度を下げたいのであれば、酒場（72番のマス）に、追加で文書トークン1個を裏向きで配置します。その処理は、上記の〈歌う樹〉の文書と同様です。

このミニ拡張は、作者ミヒャエル・メンツェルの指示によって作成されました。

このミニ拡張は、望むなら他の伝説で使用することもできます。